

課題名	18 二条大麦の新品種育成	分類	③																																																								
	大粒の醸造用二条大麦系統「九州二条11号」の育成																																																										
試験研究年次	56~1年																																																										
I 目的 うどんこ病抵抗性で大粒の醸造用二条大麦品種を育成する。																																																											
II 試験方法																																																											
1 交配																																																											
(1) 組み合わせ 大系H804/SpartanF1//栃系157																																																											
(2) 育種目標 大系H804の高醸造品質特にク'アスク-セ'カ, Spartanのうどんこ病抵抗性 栃系157の精麥縮病抵抗性を組み合わせた。																																																											
2 育成経過																																																											
(1) 交配年 : 昭和57年春																																																											
(2) 交配場所 : 福岡農試																																																											
(3) 試験経過 :																																																											
57年度 世代促進																																																											
F1を11月末温室に播種し、2月末に収穫																																																											
F2を3月中旬温室に播種し、5月末に収穫																																																											
58年度 F3を圃場で集団養成																																																											
59年度 F4集団から900穂を穂選抜																																																											
60年度 F5穂系統を精麥縮病発生現地圃場に播種し79系統を選抜																																																											
61年度 系統及び個体選抜試験。14系統を選抜。																																																											
62年度 生産力検定予備試験(筑系7741)、麥芽品質検定																																																											
63年度 同上、特性検定試験																																																											
元年度 系統比較試験(吉系28)、特性検定試験、系統適応性検定試験																																																											
世代 平成元年度でF9																																																											
III 主要成果の概要																																																											
子実の外観がやや劣るが、大粒、多収で、うどんこ病に強く、麥芽品質が非常に良いビール大麦を育成した。																																																											
IV 主要成果の具体的データ																																																											
第1表 特検系選抜試験結果																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品種名</th> <th colspan="2">赤かび病</th> <th colspan="2">精麥縮病</th> <th colspan="2">うどんこ病</th> <th colspan="5">系選 **</th> </tr> <tr> <th>鹿兒島</th> <th>高知</th> <th>九試*</th> <th>辰木</th> <th>山</th> <th>農研</th> <th>長</th> <th>(上段:標準比%</th> <th>下段:子実重kg/a)</th> <th>大隅</th> <th>宮崎</th> <th>佐賀</th> <th>徳島</th> <th>山口</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>九州二条11号</td> <td>極強</td> <td>極強</td> <td>50.6</td> <td>極強</td> <td>極強</td> <td>極強</td> <td>無</td> <td>112×</td> <td>90○</td> <td>97○</td> <td>107○</td> <td>111○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>あまぎ二条</td> <td>極強</td> <td>極強</td> <td>24.4</td> <td>弱</td> <td>弱</td> <td>弱</td> <td>多</td> <td>31.0</td> <td>37.8</td> <td>37.2</td> <td>38.0</td> <td>50.4</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				品種名	赤かび病		精麥縮病		うどんこ病		系選 **					鹿兒島	高知	九試*	辰木	山	農研	長	(上段:標準比%	下段:子実重kg/a)	大隅	宮崎	佐賀	徳島	山口	九州二条11号	極強	極強	50.6	極強	極強	極強	無	112×	90○	97○	107○	111○			あまぎ二条	極強	極強	24.4	弱	弱	弱	多	31.0	37.8	37.2	38.0	50.4		
品種名	赤かび病		精麥縮病		うどんこ病		系選 **																																																				
	鹿兒島	高知	九試*	辰木	山	農研	長	(上段:標準比%	下段:子実重kg/a)	大隅	宮崎	佐賀	徳島	山口																																													
九州二条11号	極強	極強	50.6	極強	極強	極強	無	112×	90○	97○	107○	111○																																															
あまぎ二条	極強	極強	24.4	弱	弱	弱	多	31.0	37.8	37.2	38.0	50.4																																															
注) ① *り病額花率(%), **比較品種は大隅 はるな二条、徳島 ニシノゴ'ート'																																																											
② 平成元年度の試験結果																																																											

第2表 生育調査

系統名	出穂期	成熟期	穂長	穂長	穂数	倒伏	赤かび病	うどんこ病	萎縮病
	月日	月日	cm	cm	本/m ²				
九州二条11号	4.9	5.23	90	6.3	527	少	無	無	極強
あまぎ二条	4.8	5.23	90	6.7	438	微	微	少	弱
ニシノゴールド	4.7	5.20	90	6.3	482	微	微	多	極強

注) 昭和63～平成元年の平均値

第3表 収穫物調査

系統名	収量	標準比率	リットル重	千粒重	整粒歩合	子実外観	検査等級
	kg/10a	%	g	g	%		
九州二条11号	507	128	668	47.5	82	中下	等外上～規格外
あまぎ二条	406	100	677	40.9	75	中中	等外上
ニシノゴールド	356	88	660	38.9	64	中中	等外上

注) 昭和63～平成元年の平均値

第4表 麦芽品質

品種名	エキス無水物	エキス収量	麦芽窒素	可溶性窒素	コーンホフ数	シブシブ力WK	シブシブ力WK/TN	最終発酵度	総合評点	標準との差	概評
	%	%	%	%	%	%	%	%			
九州二条11号	83.7	78.7	1.55	0.84	54.0	251	161	84.8	69.4	15.9	○
あまぎ二条	81.1	75.8	1.41	0.74	52.2	182	129	85.1	53.5	0.0	比較
ニシノゴールド	83.5	78.1	1.49	0.80	53.4	191	127	85.3	64.5	10.9	○

注) 昭和62～63年度材料の平均。栃木農試分析

V 成果の評価と取扱上の留意点

現在のビール大麦の主要品種であるあまぎ二条やニシノゴールドの整粒歩合低下の欠点を本系統は補うことができるので、本系統の導入でビール大麦の安定生産に寄与する。

VI 今後の研究上の問題点

合同品種比較試験や各県の奨励品種決定調査で試験を継続する。

VI 資料名 昭和56-平成元年度 福岡県農業総合試験場 農産研究所 二条大麦育種試験成績書